

盛大に総会と安全大会

安全功労者
6人を表彰

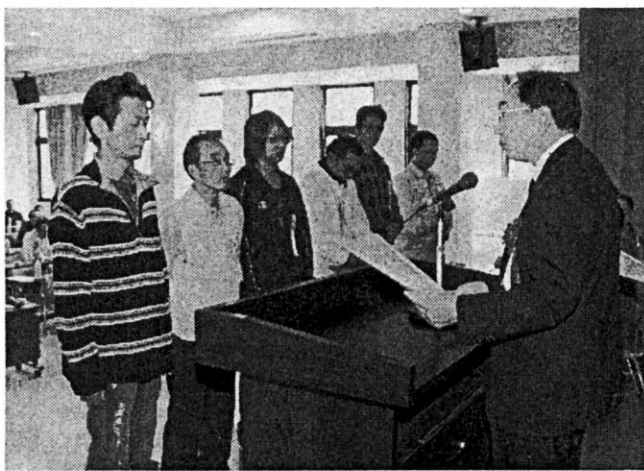
無事故無災害へ決意新た

奈良屋と協力会

奈良屋(横山昌弘社長)と奈良屋安全衛生協力会(照山清幸会長)は14日、水戸市青柳町の県建設技術管理センターを会場に、第31回奈良屋安全衛生協力会総会と安全大会を開催した。会場には約250人が出席。安全大会では安全功労者6人を表彰したほか、安全に関する講話や「無事故無災害を推進する」とした安全宣言が行われ、これま

での以上の安全意識の徹底を誓った。

総会に先立ち、あいさつした照山会長は、31回目の大会の開催に対する感謝と、東日本大震災での被災者へお見舞いを述べ、震災による復興事業で仕事量が増大しているなど、「昨年とは取り巻く環境が変わっている」とする認識を示した。一方で、過重労働による健康障害やメンタルヘ



安全功労者の6人には、横山社長から表彰状が贈られた。



照山会長



横山社長



長森氏

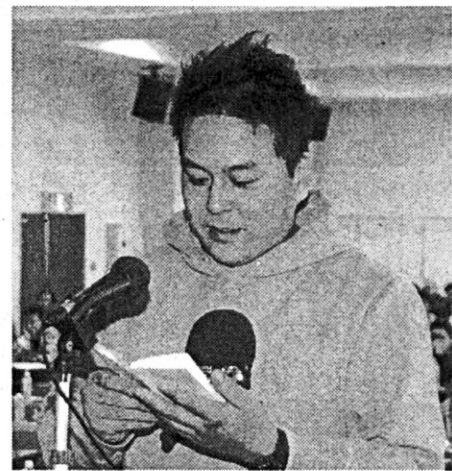
ルスから生じる鬱病など、健康問題がも社会的な問題になっているとして、「二人一人が健康管理に留意し、プロとしての自覚を持って実行することが重要」と述べ、無事故無災害の明るい現場づくりに邁進するよう求めた。

横山社長は、「大きな事故もなく本日を迎えることができたのは皆さまの努力の賜物」などと謝意を述べた。東日本大震災に対しては、被災者にお見舞いを述べるとも

に、「仕事量の増加により正常な単価で受注できる状況が整ってきた」などと語る一方「職方の不足が問題になっている」として、技術を持った者の評価を正しいものにしていく必要があるとした。

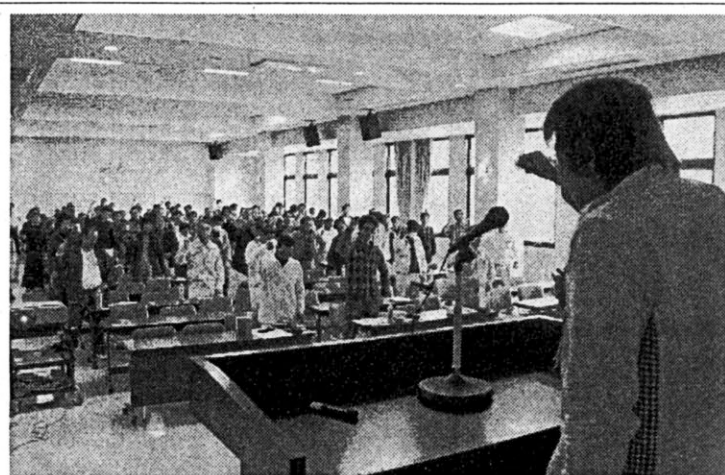
また、震災では、防潮堤などの物による対策以上に、避難経路などの訓練による対策のほうが効果があったとして、「現場も同じであり、自分の命は自分を守るという気持ちを持ち、各現場でがんばって頂きたい」と述べ、無事故無災害の理想に向かい、安全に心がけるよう訴えた。

協力会の総会では、第30期の事業報告と決算を承認し、第31期事業計画と予算を決定した。事業計画では、本年度の全国安全週間スローガンの下、▽安全ハトリールの強化▽安全衛生に関する会議などへの参加▽自主



協力会の本多氏が安全宣言を読み上げた。

安全大会では、安全功労者の6人それぞれに横山社長から表彰状を授与。続いて、日本交通事故鑑識研究所アドバイザの長森紀雄氏により、「交通事故は防げる」と題した講演が行われた。最後には、協力会の本



出席者全員でときの声をあげ、無事故無災害の達成を誓った。

多孝之氏により、「安全大会を契機に安全の重要性の再認識と、積極的な災害事故防止の努力により、無事故無災害の達成を全員一致協力して強力に推進する」とした安全宣言が行われ、出席者全員でときの声をあげて決意を新たにした。

以下、安全功労表彰受賞者は次の通り。

(敬称略・順不同)

【第31回安全功労表彰】

▽和田隆博(金属工)

▽梨木幸一(クロス工)

▽浦浪裕太(タイル工)

▽柏崎良樹(床工)▽堀

越実(内装工)▽磯崎祐輔(社員)

【元請得意先よりの受

内装仕上げ工】

▽本多孝之(清水建設、